

令和2年度取組状況

ものづくり工学科

一般科目

准教授

吉田 健一

取組状況	
教育	<p>遠隔授業に100%対応した授業システムを構築し、担当授業の全てでアクティブラーニング形式の授業を実施した。座学授業では、オンラインリッカードとZoomを組み合わせ、オンライン環境での双方向授業を実現した。また、予習動画として公開している、YouTube動画の視聴履歴を収集するサーバーを引き続き導入し、学生の動画の視聴時間の増加に努めた。反転授業用に公開したYou tube動画は累計で75本となり、これらの動画教材は2021年4月から2022年3月までの1年間に、16,847回視聴され、総再生時間は1603時間となった。今年度から公開した1年生用の力学予習動画は、30本の動画に2627回の視聴があり、総視聴時間119時間となった。課題研究では、昨年に引き続き、英語を用いた物理実験を実施した。</p>
研究	<p>研究論文 (1) SrO Doping Effect on Fabrication and Performance of Ni/Ce_{1-x}Sr_xO_{2-x} Anode Supported Solid Oxide Fuel Cell for Direct Methane Utilization, Nicharee Wongsawatgul¹, Shinichi Momiyama¹, Soamwadee Chaiansutcharit, Kenichi Yoshida, Makoto Nanko and Kazunori Sato, Materials Transactions, Vol. 62, No. 12, pp. 1732 -1738, 2021.</p> <p>外部資金 (1) 遠隔授業に対応した物理教材の開発 令和2～6年度 科学研究費 基盤研究C 研究代表者 (2) スマートフォンとモーションセンサーを使った実験で「力と物体の運動」を学ぼう 令和3年度(2021年度)科学研究費(研究成果公開促進費)研究代表者</p>
社会貢献	<p>(1) スマートフォンとモーションセンサーを使った実験で「力と物体の運動」を学ぼう 令和3年度(2021年度)ひらめき☆ときめきサイエンス, 令和3年7月23日, 13:00～18:00 参加者10名</p>